

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化や終末期を迎えた場合、家族と話し合い、事業所で出来る事を説明し、ケア方針を職員家族で共有し、支援を行っている。が、入所時の早い段階から利用者や家族に対して終末期のケア方針を周知徹底しているとは言えない、技術も十分ではない。	・入所時に重度化や終末期における事業所のケア方針を周知する共に、ターミナルケア体制を整備する。	・主治医への健康情報提供の綿密化及び相談の徹底 ・県や各機関の研修会を活用し医療看護知識の向上 ・県や各機関の研修会を活用し看護技術(経管栄養、痰吸引等)の習得	12ヶ月
2	35	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に備えて主に消防署の指導のもと利用者が無事に避難出来るように全職員が年2回定期的に訓練しているが、事業所内で行っており、地域との協力体制が十分ではない。	・地域住民との合同災害訓練の仕組みを整備し、合同訓練を実践する。	・夜間想定火災、自然災害時の避難訓練の継続 ・地域災害協力体制の再整備 ・災害時の為の飲食料の備蓄	6ヶ月
3	36	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない対応を心掛けているが、まだ一部の職員に、又時に業務遂行に専念する余り、個々への配慮が疎かになることがある。	・事業理念を再確認し、徹底する。 利用者(高齢者)本位の介護の実践 利用者(高齢者)の自尊心を保つ介護の実践	・職員個々(理念の解釈ー利用者本位とは、自尊心を保つ介護とは)による介護実施計画の作成 ・全職員による上記介護実施計画の協議 ・全職員共有の、チームによる介護の実施	6ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。